

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0017

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月14日		(水)	13:00		承認	審査	作成	
	作業件名	タンク減容・保管委託(H29)								
	発生場所	K2エリア (GS-20 南)						2018/2/6	2018/2/6	2018/2/6
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
線量測定年月日	2018/1/30	測定者			測定器名	電離箱測定器		管理番号	F1-ICWBL-134	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	伐採木	D	01	D	A	6 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0342
				2018/2/6
調整後保管日時		2018年2月14日		13:00
【保管時の指示事項等】				
幹のみ保管(長さ1m程度)				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	伐採木				エリアG(幹・根)	2018/2/14 11:30	6 m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴						
A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」													

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0017								
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月16日		(金)	10:00		承認	審査	作成									
	作業件名	タンク減容・保管委託(H29)																
	発生場所	K2エリア (GS-20 南)						2018/2/6	2018/2/6	2018/2/6								
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL									
	元請会社					担当者			TEL									
	線量測定年月日	2018/1/30		測定者			測定器名	電離箱測定器		管理番号	F1-ICWBL-134							
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率							
	1	伐採木			D	01	D	A	4 m ³	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無						
	2								m ³									
	3								m ³									
4								m ³										
5								m ³										
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																		
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.			
	1	1	伐採木							エリアG(幹・根)	2018/2/16 10:05	4 m ³						
												m ³						
												m ³						
												m ³						
												m ³						
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																		
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類		02	プラスチック・ホリ・ビニール類		03	木材類		04	可燃物その他		05	—	
				06	—		07	—		08	—		09	—		10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ		02	コンクリートガラ		03	機器類・制御盤類		04	土砂類		05	塩化ビニール類	
				06	保温材		07	石綿含有物		08	ケーブル類		09	アスファルトガラ		10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体		12	フランジタンク付属品		13	—		14	—		15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類		02	難燃シート類		03	ホース類		04	難燃物その他		05	—	
				01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—	
		D	伐採木															
		②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																		
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																		
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																		

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	
				2018/2/6
調整後保管日時		2018年2月16日		10:00
【保管時の指示事項等】				
幹のみ保管(長さ1m程度)				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0017				
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月16日		(金)	13:00		承認	審査	作成					
	作業件名	タンク減容・保管委託(H29)												
	発生場所	K2エリア (GS-20 南)						2018/2/6	2018/2/6	2018/2/6				
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL						
	元請会社				担当者			TEL						
	線量測定年月日	2018/1/30	測定者			測定器名	電離箱測定器		管理番号	F1-ICWBL-134				
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	伐採木	D	01	D	A	3 m ³	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無				
	2						m ³							
	3						m ³							
4						m ³								
5						m ³								
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。														
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.		
			中止						m ³					
									m ³					
									m ³					
									m ³					
									m ³					
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載													
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
			B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
					06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
		11			フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		01			ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		C	難燃物	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。														

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0023

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月13日		(火)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G1南エリアタンク基礎他設置工事								
	発生場所	残Con処理場エリア				2018/2/6	2018/2/6	2018/2/6		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
G	線量測定年月日	2018/2/5	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-GMAD-132		
記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	15 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
	4						m ³			
5						m ³				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0351
				2018/2/6
調整後保管日時		2018年2月13日		8:00
【保管時の指示事項等】				
当日の状況によって 受入れ台数を制限する場合があります。				

線量測定内容			
測定日	2018年2月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/2/13 8:05	5 m ³			1
	1	2	コンクリートガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/2/13 8:25	5 m ³			1
	1	3	コンクリートガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/2/13 8:45	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013101 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月13日		(火)	8:30		承認	審査	作成
	作業件名	6号機T/B北東斜面復旧工事							
	発生場所	6号機T/B北東斜面 (G1-14 北側)							
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2018/1/31		測定者			測定器名	ICW-BL	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	コンガラ	B	02	D	A	4 m ²	1 μ Sv/h	2 μ Sv/h
	2						m ²		
	3						m ²		
	4						m ²		
	5						m ²		
	溶接金網含む(可能な限り取り除いています) 無筋コンクリート 1台目 4m3								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0352
				2018/2/6
調整後保管日時		2018年2月13日		8:30
【保管時の指示事項等】				
当日の状況によって 受入れ台数を制限する場合があります。				

線量測定内容			
測定日	2018年2月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/2/13 8:40	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013101 - 0005

作業主管理	保管希望日時	2018年2月13日		(火)	12:30	承認	審査	作成						
	作業件名	6号機T/B北東斜面復旧工事												
	発生場所	6号機T/B北東斜面 (GI-14 北側)				2018/2/6	2018/2/6	2018/2/6						
	作業主管G	土木保全・総括グループ			監理員	TEL								
	元請会社				担当者	TEL								
線量測定年月日	2018/1/31	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号 IF-ICWBL-14						
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率					
		①	②	③										
		1	コンガラ	B 02						D A	4 m ²	1 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無
		2									m ²			
3				m ²										
4				m ²										
5				m ²										
メモ	溶接金網含む(可能な限り取り除いています) 無筋コンクリート 2台目 4m3													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0353
				2018/2/6
調整後保管日時		2018年2月13日		12:30
【保管時の指示事項等】				
当日の状況によって 受入れ台数を制限する場合があります。				

線量測定内容				
測定日	2018年2月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/2/13 12:30	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013101 - 0005

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2018年2月14日		(水)	8:30		承認	審査	作成		
	作業件名	6号機T/B北東斜面復旧工事									
	発生場所	6号機T/B北東斜面 (GI-14 北側)						2018/2/6	2018/2/6	2018/2/6	
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/1/31	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14	
G 記 入 欄 メモ	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	コンガラ	B	02	D	A	4 m ³	1 μSv/h	2 μSv/h	無	
	2						m ³				
	3						m ³				
	4						m ³				
5						m ³					
溶接金網含む(可能な限り取り除いています) 無筋コンクリート 1台目 4m3											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0354
				2018/2/6
調整後保管日時		2018年2月14日		8:30
【保管時の指示事項等】				
当日の状況によって 受入れ台数を制限する場合があります。				

線量測定内容			
測定日	2018年2月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/14 8:55	4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
	②	C	難 燃 物	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
				01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履歴				
				A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013101 - 0005

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月14日		(水)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	6号機T/B北東斜面復旧工事								
	発生場所	6号機T/B北東斜面 (GI-14 北側)						2018/2/6	2018/2/6	2018/2/6
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/1/31	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンガラ	B	02	D	A	4 m ³	1 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無
	2						m ³			
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
溶接金網含む(可能な限り取り除いています) 無筋コンクリート 2台目 4m3										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0355
				2018/2/6
調整後保管日時		2018年2月14日		9:30
【保管時の指示事項等】				
当日の状況によって 受入れ台数を制限する場合があります。				

線量測定内容				
測定日	2018年2月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/2/14 9:35	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013101 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月14日		(水)	12:30		承認	審査	作成	
	作業件名	6号機T/B北東斜面復旧工事								
	発生場所	6号機T/B北東斜面 (GI-14 北側)								
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/1/31	測定者			測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	コンガラ	B	02	D	A	4 m ²	1 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
メモ	溶接金網含む(可能な限り取り除いています) 無筋コンクリート 3台目 4m3									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0356
				2018/2/6
調整後保管日時		2018年2月14日		12:30
【保管時の指示事項等】				
当日の状況によって 受入れ台数を制限する場合があります。				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013101 - 0005							
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年2月16日		(金)	8:30		承認	審査	作成							
	作業件名		6号機T/B北東斜面復旧工事														
	発生場所		6号機T/B北東斜面 (GI-14 北側)														
	作業主管G		土木保全・総括グループ				監理員	TEL									
	元請会社						担当者	TEL									
	線量測定年月日		2018/1/31		測定者			測定器名	ICW-BL								
								管理番号	1F-ICWBL-14								
	No.		保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無						
											β + γ 線量率						
	1		コンガラ			B 02 D A		4 m ²	1 μSv/h	2 μSv/h	無						
2							m ²										
3							m ²										
4							m ²										
5							m ²										
溶接金網含む(可能な限り取り除いています) 無筋コンクリート 1台目 4m3																	
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.		
			中止									m ²					
												m ²					
												m ²					
												m ²					
												m ²					
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																	
メ モ																	
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—				
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—				
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類				
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他				
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—				
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—				
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—				
		D	伐採木														
		②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																	
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																	
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																	

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013101 - 0005																																																																																					
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月16日			(金)	12:30		承認	審査	作成																																																																																					
	作業件名	6号機T/B北東斜面復旧工事																																																																																													
	発生場所	6号機T/B北東斜面 (GI-14 北側)							2018/2/6	2018/2/6	2018/2/6																																																																																				
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員			TEL																																																																																						
	元請会社					担当者			TEL																																																																																						
	線量測定年月日	2018/1/31	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14																																																																																					
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率																																																																																						
	1	コンガラ	B	02	D	A	4 m ²	1 μSv/h	2 μSv/h	無																																																																																					
	2						m ²																																																																																								
	3						m ²																																																																																								
4						m ²																																																																																									
5						m ²																																																																																									
メ モ	溶接金網含む(可能な限り取り除いています) 無筋コンクリート 2台目 4m3																																																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="12">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="11"></th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="9">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> </tbody> </table>												線量測定内容												測定日												測定No.	氏名	測定器	管理番号									1												2												3												4											
線量測定内容																																																																																															
測定日																																																																																															
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																												
1																																																																																															
2																																																																																															
3																																																																																															
4																																																																																															
保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																																			
			中止						m ²																																																																																						
									m ²																																																																																						
									m ²																																																																																						
									m ²																																																																																						
									m ²																																																																																						
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																															
メ モ																																																																																															
※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																																																																																		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																																																																																		
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																																																																																		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																																																																																		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																																																																																		
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																																																																																		
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																																		
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																																		
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																																			
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																								
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																																																																																															

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012602 - 0053

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月16日		(金)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成								
	発生場所	有床救護所エリア周辺								
	作業主管G	建築総合工事グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/9		測定者			測定器名	電離箱		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	アスファルトガラ			B 09 D A	5 m ³	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無	
	2					m ³				
	3					m ³				
4					m ³					
5					m ³					
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	02	—	0362
				2018/2/6
調整後保管日時		2018年2月16日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012909 - 0002

作業 主 管 欄	保管希望日時	2018年2月16日		(金)	12:30		承認	審査	作成		
	作業件名	1〜3号機SFP循環冷却設備信頼性向上対策工事(件名統合により名称変更)									
	発生場所	5.6号超高圧開閉所-南東エリア						2018/2/6	2018/2/6	2018/2/6	
	作業主管G	冷却・監視設備計装グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/2/5		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-130
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	① ② ③										
	1	金属ガラ	B	01	D	B	3 m ³	5 μSv/h	5 μSv/h	β 有	400 μSv/h
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	0.5 m ³	5 μSv/h	5 μSv/h	β 有	20 μSv/h
3	紙・ウエス類	A	01	D	B	0.5 m ³	5 μSv/h	5 μSv/h	β 有	20 μSv/h	
4	不燃物その他	B	10	D	B	0.5 m ³	5 μSv/h	5 μSv/h	β 有	20 μSv/h	
5	土砂類	B	04	D	B	0.5 m ³	5 μSv/h	5 μSv/h	β 有	10 μSv/h	
※ モ	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 No.1~5:6m3コンテナ (No.00575) No.6~8:6m3コンテナ (No.00650) No.9~10:6m3コンテナ (No.00646)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0365
2018/2/7				
調整後保管日時		2018年2月16日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年2月16日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-105	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ	6 μSv/h	6 μSv/h	6 μSv/h	エリアX	2018/2/16 11:50	6 m ³		ZK-00650	1
	1	2	6m3コンテナ	6 μSv/h	6 μSv/h	6 μSv/h	エリアX	2018/2/16 11:50	6 m ³		ZK-00575	1
	1	3	6m3コンテナ	6 μSv/h	6 μSv/h	6 μSv/h	エリアX	2018/2/16 11:50	6 m ³		ZK-00646	1
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※
モ
上記の保管物は6m3コンテナ3基に分けて収納

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③						
	6	金属ガラ	B	01	D	B	3 m ³	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	β 有	400 μ Sv/h
	7	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	0.5 m ³	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	β 有	20 μ Sv/h
	8	紙・ウエス類	A	01	D	B	0.5 m ³	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	β 有	20 μ Sv/h
	9	金属ガラ	B	01	D	B	3 m ³	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	β 有	400 μ Sv/h
	10	不燃物その他	B	10	D	B	0.5 m ³	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	β 有	20 μ Sv/h

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	02	—	0365

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013502 - 0001

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月16日		(金)	8:00		承認	審査	作成											
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託																		
	発生場所	水素トレーラーエリア							2018/2/7											
	作業主管G	工事基盤整備グループ				監理員	TEL													
	元請会社					担当者	TEL													
G 記 入 欄 メ モ	線量測定年月日	2018/2/6		測定者			測定器名	ICWBL												
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無 β有	β+γ 線量率											
		①	②	③																
		1	コンクリートガラ	B						02	D	A	48	m ²	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	0.04	mSv/h
		2																		
3																				
4																				
5																				
※内容物: 碎石 6m3コンテナ8基(借用済)を運搬します。運搬時間は 瓦礫担当者様と調整済み。																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0366
				2018/2/7
調整後保管日時		2018年2月16日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ	6 μSv/h	13 μSv/h	13 μSv/h	エリアX	2018/2/16 8:00	6 m ²		ZK-00788	1
	1	2	コンクリートガラ	6 μSv/h	10 μSv/h	10 μSv/h	エリアX	2018/2/16 8:30	6 m ²		ZK-00889	1
	1	3	コンクリートガラ	6 μSv/h	6 μSv/h	6 μSv/h	エリアX	2018/2/16 9:00	6 m ²		ZK-00933	1
	1	4	コンクリートガラ	6 μSv/h	13 μSv/h	13 μSv/h	エリアX	2018/2/16 9:30	6 m ²		ZK-00756	1
	1	5	コンクリートガラ	6 μSv/h	10 μSv/h	10 μSv/h	エリアX	2018/2/16 10:00	6 m ²		ZK-00936	1

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記の保管物は6m3コンテナ8基に分けて収納

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	02	—	0366

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	02	—	0366

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月13日	(火)	8:30	承認	審査	作成				
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	Bエリア			2018/2/7	2018/2/7	2018/2/7				
	作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員		TEL						
	元請会社		担当者		TEL						
	線量測定年月日	2018/1/18	測定者		測定器名	βγ用電離箱	管理番号 F1-ICWBL-133				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率				
		①	②	③			β・α 汚染の 有無				
	1	金属ガラ	B	01	D	A	6 m ²	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0377
				2018/2/7
調整後保管日時		2018年2月13日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/13 8:20	6 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月14日		(水)	12:30		承認	審査	作成											
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事																		
	発生場所	Bエリア					2018/2/7	2018/2/7	2018/2/7											
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員			TEL												
	元請会社				担当者			TEL												
	線量測定年月日	2018/1/18		測定者			測定器名	βγ用電離箱												
							管理番号	F1-ICWBL-133												
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率											
		①	②	③																
		1	金属ガラ	B						01	D	A	6	m	0.008	mSv/h	0.008	mSv/h	無	
		2											m							
		3											m							
		4											m							
		5											m							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0378
				2018/2/7
調整後保管日時		2018年2月14日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m			
									m			
									m			
									m			
									m			
									m			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2018年2月14日	(水)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事							
	発生場所	G1タンク盛土上			2018/2/7	2018/2/7	2018/2/7		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/7	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号 F1-ICWBL-70		
G 記 入 欄 メモ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	コンクリートガラ	B 02	D B	5 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2				m ³				
	3				m ³				
	4				m ³				
5				m ³					

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0381
				2018/2/7
調整後保管日時		2018年2月14日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/2/14 8:15	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		G	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0023							
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年2月14日		(水)	13:00		承認	審査	作成							
	作業件名		G1南エリアタンク基礎他設置工事														
	発生場所		G1南エリア														
	作業主管G		貯留設備土木グループ				監理員	TEL									
	元請会社						担当者	TEL									
	線量測定年月日		2018/2/5		測定者			測定器名	ICWBM								
								管理番号	F1-ICWBL-85								
	No.		保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無						
	1		不燃物			B 10 W B		5 m ³	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無						
2							m ³										
3							m ³										
4							m ³										
5							m ³										
線量測定内容																	
測定日																	
測定No.		氏名		測定器		管理番号											
1																	
2																	
3																	
4																	
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.	
			中止										m ³				
													m ³				
													m ³				
													m ³				
													m ³				
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載																	
メ モ																	
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05		—			
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —					
		B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類					
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他					
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —					
		C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05		—			
				01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05		—			
		D	伐採木														
		②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																	

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0023

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2018年2月16日		(金)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	G1南エリアタンク基礎他設置工事								
	発生場所	G1南エリア						2018/2/8	2018/2/8	2018/2/8
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/5	測定者			測定器名	ICWBM		管理番号	F1-ICWBL-85
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	不燃物	B	01	W	B	5 m	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無
2						m				
3						m				
4						m				
5						m				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0391
				2018/2/8
調整後保管日時		2018年2月16日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中上						m			
									m			
									m			
									m			
									m			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013802 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月13日		(火)	9:00	承認	審査	作成
	作業件名	平成25年度「汚染水処理対策事業(凍土方式遮水壁大規模整備実証事業)」						
	発生場所	1～4号機周辺(GL-26 北)				2018/1/23	2018/1/23	2018/1/23
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員	TEL		
	元請会社				担当者	TEL		
	線量測定年月日	2018/1/16	測定者		測定器名	ICW		管理番号 F1-ICW-356
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
		①	②	③				β + γ 線量率
	1	トン袋・土のう袋・養生テープ他	A 04	D B	3 m ²	50 μSv/h	50 μSv/h	無
	2				m ²			
	3				m ²			
	4				m ²			
	5				m ²			
メモ	回収							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	02	—	0007
				2018/1/24
調整後保管日時		2018年2月13日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年2月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	トン袋・土のう袋・養生テープ他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/2/13 9:10	1.2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0107

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月14日		(水)	12:30		承認	審査	作成
	作業件名	SARRY II 新設工事							
	発生場所	一時保管第二施設 GL-30北					2018/2/5	2018/2/5	2018/2/5
	作業主管G	処理設備グループ			監理員			TEL	
	元請会社				担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/1/18		測定者			測定器名	ICW . ICWBL	
							管理番号	137・129	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	紙・ウエス類	A 01	W B	2 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D B	2 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	可燃物その他	A 04	D B	1 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	4				m ³				
	5				m ³				
	回収								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	02	—	0054
				2018/2/5
調整後保管日時		2018年2月14日		12:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年2月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/14 12:30	1.5 m ³			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/14 12:30	3.3 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月13日		(火)	9:30	承認	審査	作成
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務						
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)				2018/2/5	2018/2/5	2018/2/1
	作業主管G	総務グループ			監理員	TEL		
	元請会社				担当者	TEL		
	線量測定年月日	2018/2/1	測定者		測定器名	F1-SC		管理番号
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率
	1	ペットボトル			5 m ³	0 μ Sv/h	0 μ Sv/h	無
	2				m ³			
	3				m ³			
	4				m ³			
	5				m ³			
メモ	回収							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	02	—	0055
				2018/2/5
調整後保管日時		2018年2月13日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年2月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ペットボトル	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/13 9:40	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 入 欄	保管希望日時	2018年2月13日		(火)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務										
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)						2018/2/5	2018/2/5	2018/2/1		
	作業主管G	総務グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/2/1		測定者			測定器名	F1-SC		管理番号	099	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③								
	1	ペットボトル			A	02	D	A	5 m ²	6 μ Sv/h	6 μ Sv/h	無
	2								m ²			
	3								m ²			
4								m ²				
5								m ²				
メ モ	回収											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	02	—	0056
				2018/2/5
調整後保管日時		2018年2月13日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年2月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ペットボトル	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/13 9:40	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月14日	(水)	9:30	承認	審査	作成
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務					
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2018/2/5	2018/2/5	2018/2/1
	作業主管G	総務グループ			監理員	TEL	
	元請会社				担当者	TEL	
	線量測定年月日	2018/2/1	測定者		測定器名	F1-SC	管理番号 099
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		①	②	③			$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
	1	紙類	A 01	D A	5 m ²	6 μ Sv/h	6 μ Sv/h 無
	2				m ²		
	3				m ²		
	4				m ²		
	5				m ²		
	回収						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	02	—	0057
				2018/2/5
調整後保管日時		2018年2月14日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年2月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/14 9:35	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —			
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —			
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —			
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —			
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月14日		(水)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)					2018/2/5	2018/2/5	2018/2/1	
	作業主管G	総務グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/2/1		測定者			測定器名	F1-SC		
							管理番号	099		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③						
	1	紙類			A 01 D A	5 m ²	6 μ Sv/h	6 μ Sv/h	無	
	2					m ²				
	3					m ²				
	4					m ²				
	5					m ²				
	回収									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	02	—	0058
				2018/2/5
調整後保管日時		2018年2月14日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年2月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/14 9:35	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0027

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月13日		(火)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	Jエリアタンク受入配管設置工事								
	発生場所	Jエリア(GN-11 南)					2018/2/2	2018/2/2	2018/2/2	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
線量測定年月日	2017/12/25	測定者			測定器名	F1-ICWBL-54		管理番号	54	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	土のう袋	A	04	W	A	5 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m ³			
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
回収	仮置き場									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	02	—	0059
				2018/2/5
調整後保管日時		2018年2月13日		11:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年2月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土のう袋	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/13 11:00	1.7 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0022

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月15日		(木)	10:00		承認	審査	作成							
	作業件名	H4北エリアタンク設置工事														
	発生場所	H4エリア北側(GN-25東)					2018/2/7	2018/2/7	2018/2/7							
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL									
	元請会社					担当者	TEL									
	線量測定年月日	2018/2/6		測定者			測定器名	ICW								
	管理番号	F1-ICW-377														
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率					
		①	②	③												
		1	紙・ウエス類	A		01	D	B	0.2	m ²	0.003	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
		2	プラスチック・ホリ・ビニール類	A		02	D	B	4	m ²	0.003	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
		3	可燃物 その他	A		04	D	B	0.7	m ²	0.003	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
		4								m ²						
5							m ²									
「回収」																

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	02	—	0068
				2018/2/7
調整後保管日時		2018年2月15日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年2月15日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	プラスチック・ホリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/15 10:15	2.1 m ²			1
	3	1	可燃物 その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/15 10:15	0.2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6013708 - 0025																																																																																																		
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月15日 (木) 10:00				承認		審査		作成																																																																																																				
	作業件名	H4北エリア雨カバ設置																																																																																																												
	発生場所	H4エリア北側(GN-25東)																																																																																																												
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員		TEL																																																																																																						
	元請会社					担当者		TEL																																																																																																						
	線量測定年月日	2018/2/6		測定者		測定器名		ICW		管理番号 F1-ICW-377																																																																																																				
	No.	保管物名				※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率																																																																																														
	1	紙・ウエス類				A 01 D B		0.4 m ²		0.003 mSv/h		0.01 mSv/h		無																																																																																																
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類				A 02 D B		1.5 m ²		0.003 mSv/h		0.01 mSv/h		無																																																																																																
	3	木材類				A 03 D B		3 m ²		0.003 mSv/h		0.01 mSv/h		無																																																																																																
4							m ²																																																																																																							
5							m ²																																																																																																							
「回収」																																																																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="12">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="11">2018年2月15日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="9">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td colspan="9">F1-ICW-158</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> </tbody> </table>																		線量測定内容												測定日	2018年2月15日											測定No.	氏名	測定器	管理番号									1		ICW	F1-ICW-158									2												3												4																				
線量測定内容																																																																																																														
測定日	2018年2月15日																																																																																																													
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																																											
1		ICW	F1-ICW-158																																																																																																											
2																																																																																																														
3																																																																																																														
4																																																																																																														
保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																																																		
	1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/15 10:00	0.6 m ²			1																																																																																																		
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/15 10:00	1.6 m ²			1																																																																																																		
	3	1	木材類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/15 10:00	2 m ²			1																																																																																																		
									m ²																																																																																																					
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="5">※カテゴリ</th> <th rowspan="5">①</th> <th rowspan="5">A 可燃物</th> <th colspan="2">01 紙・ウエス類</th> <th colspan="2">02 プラスチック・ポリ・ビニール類</th> <th colspan="2">03 木材類</th> <th colspan="2">04 可燃物その他</th> <th colspan="2">05 -</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">06 -</td> <td colspan="2">07 -</td> <td colspan="2">08 -</td> <td colspan="2">09 -</td> <td colspan="2">10 -</td> </tr> <tr> <th rowspan="3">B 不燃物</th> <td colspan="2">01 金属ガラ</td> <td colspan="2">02 コンクリートガラ</td> <td colspan="2">03 機器類・制御盤類</td> <td colspan="2">04 土砂類</td> <td colspan="2">05 塩化ビニール類</td> </tr> <tr> <td colspan="2">06 保温材</td> <td colspan="2">07 石綿含有物</td> <td colspan="2">08 ケーブル類</td> <td colspan="2">09 アスファルトガラ</td> <td colspan="2">10 不燃物その他</td> </tr> <tr> <td colspan="2">11 フランジタンク本体</td> <td colspan="2">12 フランジタンク付属品</td> <td colspan="2">13 -</td> <td colspan="2">14 -</td> <td colspan="2">15 -</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">C 難燃物</th> <td colspan="2">01 ゴム類</td> <td colspan="2">02 難燃シート類</td> <td colspan="2">03 ホース類</td> <td colspan="2">04 難燃物その他</td> <td colspan="2">05 -</td> </tr> <tr> <td colspan="2">01 伐採木(幹・根)</td> <td colspan="2">02 伐採木(枝・葉)</td> <td colspan="2">03 -</td> <td colspan="2">04 -</td> <td colspan="2">05 -</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">D 伐採木</th> <td colspan="2">01 伐採木(幹・根)</td> <td colspan="2">02 伐採木(枝・葉)</td> <td colspan="2">03 -</td> <td colspan="2">04 -</td> <td colspan="2">05 -</td> </tr> <tr> <td colspan="2">② 状 態</td> <td colspan="2">D:乾燥, W:湿気有</td> <td colspan="2">③ 履 歴</td> <td colspan="6">A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」</td> </tr> </tbody> </table>													※カテゴリ	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 -		06 -		07 -		08 -		09 -		10 -		B 不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類		06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他		11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 -		14 -		15 -		C 難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 -		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 -		04 -		05 -		D 伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 -		04 -		05 -		② 状 態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
※カテゴリ	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 -																																																																																																			
			06 -		07 -		08 -		09 -		10 -																																																																																																			
			B 不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類																																																																																																		
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他																																																																																																		
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 -		14 -		15 -																																																																																																		
C 難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 -																																																																																																					
	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 -		04 -		05 -																																																																																																					
D 伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 -		04 -		05 -																																																																																																					
	② 状 態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																																							
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																																																																																																														

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8010112 - 0001

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2018年2月14日		(水)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務									
	発生場所	福島第一原子力発電所構内(小型焼却炉エリア)				2018/2/9	2018/2/9	2018/2/7			
	作業主管G	総務グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/7	測定者		測定器名	F1-ICW		管理番号			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無			
		①	②	③				β + γ 線量率			
	1	ペットボトル (金属コンテナ収納済)	A	02	D	A	3 m ²	4 μSv/h	4 μSv/h	無	
	2	マットレス (金属コンテナ収納済)	A	04	D	A	1 m ²	4 μSv/h	4 μSv/h	無	
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
	持ち込み(コンテナごと持込) 殿と調整済み										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	02	—	0075
				2018/2/9
調整後保管日時		2018年2月14日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ペットボトル (金属コンテナ収納済)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/2/14 9:20	3 m ²			1
	2	1	マットレス (金属コンテナ収納済)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/2/14 9:20	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —

② 状 態 D:乾燥, W:湿気有 ③ 履 歴 A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月14日	(水)	10:00	承認	審査	作成
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務					
	発生場所	福島第一原子力発電所構内(小型焼却炉エリア)					
	作業主管G	総務グループ	監理員		TEL		
	元請会社		担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/2/7	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		①	②	③			$\beta + \gamma$ 線量率
	1	ペットボトル (金属コンテナ収納済)	A	02	D	A	4 m ²
	2						m ²
	3						m ²
	4						m ²
	5						m ²
	持ち込み(コンテナごと持込) 殿と調整済み						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	02	—	0076
				2018/2/9
調整後保管日時		2018年2月14日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ペットボトル (金属コンテナ収納済)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/14 9:50	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ

モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月14日		(水)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内(小型焼却炉エリア)					2018/2/9	2018/2/9	2018/2/7	
	作業主管G	総務グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/7	測定者		測定器名	F1-ICW		管理番号	391	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	ビニール類 (金属コンテナ収納済)	A	02	D	A	4 m ²	4 μSv/h	4 μSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
	持ち込み(コンテナごと持込) 殿と調整済み									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	02	—	0077
				2018/2/9
調整後保管日時		2018年2月14日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年2月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール類 (金属コンテナ収納済)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/2/14 10:20	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2018年2月14日		(水)	11:30		承認	審査	作成		
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務									
	発生場所	福島第一原子力発電所構内(小型焼却炉エリア)									
	作業主管G	総務グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/7		測定者			測定器名	F1-ICW			
							管理番号	391			
記入 欄 メモ	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③							
	1	ビニール類 (金属コンテナ収納済)	A	02	D	A	3 m ²	4 μSv/h	4 μSv/h	無	
	2	ダンボール (金属コンテナ収納済)	A	01	D	A	1 m ²	4 μSv/h	4 μSv/h	無	
	3						m ²				
	4						m ²				
5						m ²					
	持ち込み(コンテナごと持込) 殿と調整済み										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	02	—	0078
				2018/2/9
調整後保管日時		2018年2月14日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール類 (金属コンテナ収納済)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/2/14 11:30	3 m ²			1
	2	1	ダンボール (金属コンテナ収納済)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/2/14 11:30	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月14日		(水)	12:00	承認	審査	作成
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務						
	発生場所	福島第一原子力発電所構内(小型焼却炉エリア)						
	作業主管G	総務グループ			監理員	TEL		
	元請会社				担当者	TEL		
	線量測定年月日	2018/2/7	測定者			測定器名	F1-ICW	管理番号
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率
	1	ダンボール (金属コンテナ収納済)	A	01	D	A	2 m ²	4 μ Sv/h
	2						m ²	
	3						m ²	
	4						m ²	
	5						m ²	
メモ	持ち込み(コンテナごと持込) 殿と調整済み							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	02	—	0079
				2018/2/9
調整後保管日時		2018年2月14日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ダンボール (金属コンテナ収納済)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/14 12:00	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01紙・ウエス類	02プラスチック・ホリ・ビニール類	03木材類	04可燃物その他	05	—
				06—	07—	08—	09—	10	—
		B	不 燃 物	01金属ガラ	02コンクリートガラ	03機器類・制御盤類	04土砂類	05	塩化ビニール類
				06保温材	07石綿含有物	08ケーブル類	09アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11フランジタンク本体	12フランジタンク付属品	13—	14—	15	—
		C	難燃物	01ゴム類	02難燃シート類	03ホース類	04難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01伐採木(幹・根)	02伐採木(枝・葉)	03—	04—	05	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012311 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月14日		(水)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F保安資材管理業務委託									
	発生場所	入退域管理棟および構内休憩所(GT-27 北東)					2018/2/9	2018/2/9			
	作業主管G	保安総括グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/8	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-149			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無			
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率			
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	2.5 m ²	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
	回収										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	02	—	0084
				2018/2/9
調整後保管日時		2018年2月14日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年2月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/14 10:30	1.2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013502 - 0001

作業 主 管 欄	保管希望日時	2018年2月15日		(木)	9:00	承認	審査	作成							
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託													
	発生場所	土捨て場					2018/2/13	2018/2/13	2018/2/13						
	作業主管G	工事基盤整備グループ			監理員	TEL									
	元請会社				担当者	TEL									
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/2/8		測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-73					
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率					
		①	②	③											
	1	不燃物その他	B	10	D	A	66	m ²	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	β 有	0.015	mSv/h
	2	可燃物その他	A	04	D	A	6	m ²	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	β 有	0.015	mSv/h
3							m ²								
4							m ²								
5							m ²								
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 6m3コンテナ12基														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	02	—	0088
調整後保管日時				2018年2月15日
				9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年2月15日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-105	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ	6 μ Sv/h	6 μ Sv/h	6 μ Sv/h	エリアX	2018/2/15 9:10	6 m ²		ZK-00816	1
	1	2	6m3コンテナ	6 μ Sv/h	6 μ Sv/h	6 μ Sv/h	エリアX	2018/2/15 9:10	6 m ²		ZK-00908	1
	1	3	6m3コンテナ	6 μ Sv/h	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h	エリアX	2018/2/15 9:10	6 m ²		ZK-00870	1
									m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載 上記の保管物は6m3コンテナ3基に分けて収納											

※カテゴリー	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013502 - 0001

作業主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月15日		(木)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託								
	発生場所	土捨て場								
	作業主管G	工事基盤整備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/8	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-73		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	紙・ウエス類	A	01	D	A	2 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	5 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
	3	木材類	A	03	D	A	3 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
	4	可燃物その他	A	04	D	A	2 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
	5	ゴム類	C	01	D	A	1 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
	注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	02	—	0089
調整後保管日時				2018年2月15日 9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月15日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/15 9:00	0.1 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/15 9:00	2.2 m ²			1
	3	1	木材類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/15 9:00	3 m ²			1
	4	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/15 9:00	0.3 m ²			1
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6013502 - 0001																																																																							
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年2月15日		(木)		9:00		承認		審査		作成																																																																						
	作業件名		構内所在不明物品の片付け業務委託																																																																																
	発生場所		土捨て場																																																																																
	作業主管G		工事基盤整備グループ				監理員		TEL																																																																										
	元請会社						担当者		TEL																																																																										
	線量測定年月日		2018/2/8		測定者				測定器名		ICWBL		管理番号 F1-ICWBL-73																																																																						
	No.		※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率																																																																				
			① ② ③																																																																																
	1 金属ガラ		B 01 D A				30 m ³		0.005 mSv/h		0.005 mSv/h		無																																																																						
	2 コンクリートガラ		B 02 D A				3 m ³		0.005 mSv/h		0.005 mSv/h		無																																																																						
3 ケーブル類		B 08 D A				5 m ³		0.005 mSv/h		0.005 mSv/h		無																																																																							
4 不燃物その他		B 10 D A				7 m ³		0.005 mSv/h		0.005 mSv/h		無																																																																							
5						m ³																																																																													
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="10">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th colspan="10">2018年2月15日</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th>管理番号</th> <th colspan="5"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td>F1-ICWBL-55</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> </tbody> </table>														線量測定内容										2018年2月15日										測定日	測定No.	氏名	測定器	管理番号						1			ICWBL	F1-ICWBL-55						2										3										4									
線量測定内容																																																																																			
2018年2月15日																																																																																			
測定日	測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																															
1			ICWBL	F1-ICWBL-55																																																																															
2																																																																																			
3																																																																																			
4																																																																																			
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																							
	1	1	金属ガラ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/2/15 11:30	4 m ³			1																																																																							
	2	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/2/15 10:00	2 m ³			1																																																																							
									m ³																																																																										
									m ³																																																																										
									m ³																																																																										
									m ³																																																																										
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																		
	メ																																																																																		
	モ																																																																																		
※ カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	---																																																																										
				06	---	07	---	08	---	09	---	10	---																																																																						
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類																																																																											
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他																																																																											
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13	---	14	---	15	---																																																																								
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	---																																																																										
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	---	04	---	05	---																																																																								
		D	伐採木																																																																																
		②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																							
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																																																																																			

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013403 - 0001			
作業主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月16日		(金)	10:30		承認	審査	作成				
	作業件名	6R D/G他点検手入工事											
	発生場所	6号機 取水路エリア(GT23中央)						2018/2/13	2018/2/13	2018/2/13			
	作業主管G	機械グループ			監理員			TEL					
	元請会社				担当者			TEL					
	線量測定年月日	2018/2/6		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	FI-ICWBL-72		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類			A	02	D	A	0.1 m ²	0.007 mSv/h	0.007 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類			A	02	D	A	0.1 m ²	0.007 mSv/h	0.007 mSv/h	無	
	3	可燃物その他			A	04	D	A	0.1 m ²	0.007 mSv/h	0.007 mSv/h	無	
4	ゴム類			C	01	D	A	0.2 m ²	0.007 mSv/h	0.007 mSv/h	無		
5	ゴム類			C	01	D	A	0.1 m ²	0.007 mSv/h	0.007 mSv/h	無		
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 「回収」グリッドGT23中央付近													

線量測定内容									
測定日	2018年2月16日								
測定No.	氏名	測定器	管理番号						
1		ICW	FI-ICW-158						
2									
3									
4									

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
1	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/2/16 10:30	1.4 m ²			1
3	1	1	可燃物その他	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/2/16 10:30	0.3 m ²			1
4	1	1	ゴム類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/2/16 10:30	0.3 m ²			1
6	1	1	難燃シート類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/2/16 10:30	0.02 m ²			1
												m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
			①	②	③										
	6	難燃シート類	C	02	D	A	0.1	m ²	0.007	mSv/h	0.007	mSv/h	無		
	7	可燃物その他	A	04	D	A	0.1	m ²	0.007	mSv/h	0.007	mSv/h	無		
	8						m ²								
	9						m ²								
	10						m ²								

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	高2018	—	02	—	0091

保管 実績 記録 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6013502 - 0001	
作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月15日			(木)	9:30			承認	審査	作成		
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託											
	発生場所	水素トレーラーエリア						2018/2/13	2018/2/13	2018/2/13			
	作業主管G	工事基盤整備グループ				監理員			TEL				
	元請会社					担当者			TEL				
	線量測定年月日	2018/2/6		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	ICWBL-80		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	保温材			B	06	D	A	12 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	0.03 mSv/h
	2								m ²				
	3								m ²				
4								m ²					
5								m ²					
メモ	※6m3コンテナ2基(借用済)を運搬します。運搬時間は 1 日 1 回 担当者様と調整済み。												

線量測定内容											
測定日	2018年2月15日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICWBL	F1-ICWBL-105								
2											
3											
4											

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h			μ Sv/h	μ Sv/h			
1	1	1	保温材	6	μ Sv/h	170	μ Sv/h	170	μ Sv/h	エリアX	2018/2/15 9:00	6	m ²		ZK-00871	1
1	2	2	保温材	6	μ Sv/h	10	μ Sv/h	10	μ Sv/h	エリアX	2018/2/15 9:00	6	m ²		ZK-00355	1
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ 上記の保管物は6m3コンテナ2基に分けて収納

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05	
				06		07		08		09		10	
				01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類	
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13		14		15	
②	B	不燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05		
			01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05		
③	C	難燃物	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05		
			01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05		
④	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05		
			01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05		
⑤		状 態		D:乾燥, W:湿気有		⑥		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013502 - 0001		
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月15日		(木)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託										
	発生場所	水素トレーラーエリア						2018/2/13	2018/2/13	2018/2/13		
	作業主管G	工事基盤整備グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/2/6		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	ICWBL-80	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
	1	保温材		B	06	D	A	12 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	β有	0.03 mSv/h
	2							m ²				
	3							m ²				
4							m ²					
5							m ²					
※6m3コンテナ2基(借用済)を運搬します。運搬時間は 瓦礫担当者様と調整済み。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	02	—	0098
				2018/2/14
調整後保管日時		2018年2月15日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年2月15日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-105	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材	6 μSv/h	6 μSv/h	6 μSv/h	エリアX	2018/2/15 10:00	6 m ²		ZK-00880	1
	1	2	保温材	6 μSv/h	6 μSv/h	6 μSv/h	エリアX	2018/2/15 10:00	6 m ²		ZK-00825	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	上記の保管物は6m3コンテナ2基に分けて収納											
--------	------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						
	注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
	注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。														

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013502 - 0001		
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月15日		(木)	10:30		承認	審査	作成			
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託										
	発生場所	水素トレーラーエリア						2018/2/13	2018/2/13	2018/2/13		
	作業主管G	工事基盤整備グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/13		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	ICWBL-80	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	金属ガラ	B	01	D	A	6 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	0.03 mSv/h	
	2						m ²					
	3						m ²					
	4						m ²					
	5						m ²					
	※6m3コンテナ1基(借用済)を運搬します。運搬時間は 瓦礫担当者様と調整済み。											

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2018	—	02	—	0099	2018/2/14
調整後保管日時		2018年2月15日		10:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年2月15日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				6 μ Sv/h	6 μ Sv/h	6 μ Sv/h	6 μ Sv/h								
	1	1	金属ガラ	6	μ Sv/h	6	μ Sv/h	6	μ Sv/h	エリアX	2018/2/15 10:10	6 m ²		ZK-00374	1
												m ²			
												m ²			
												m ²			
												m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ
上記の保管物は6m3コンテナ1基に収納

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013502 - 0001					
作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月15日		(木)	11:00		承認	審査	作成						
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託													
	発生場所	水素トレーラーエリア						2018/2/13	2018/2/13	2018/2/13					
	作業主管G	工事基盤整備グループ				監理員			TEL						
	元請会社					担当者			TEL						
メ モ	線量測定年月日	2018/2/6		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	ICWBL-80				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率						
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	12	m ³	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	β 有	0.04	mSv/h
	2							m ³							
3							m ³								
4							m ³								
5							m ³								
※内容物: 碎石 6m3コンテナ2基(借用済)を運搬します。運搬時間は 瓦礫担当者様と調整済み。															

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					2018/2/14
高2018	—	02	—	0100	
調整後保管日時		2018年2月15日			11:00
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年2月15日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				6	μ Sv/h	10	μ Sv/h	10	μ Sv/h			6	m ³			
1	1	1	コンクリートガラ	6	μ Sv/h	10	μ Sv/h	10	μ Sv/h	エリアX	2018/2/15 10:40	6	m ³		ZK-00916	1
1	2	2	コンクリートガラ	6	μ Sv/h	10	μ Sv/h	10	μ Sv/h	エリアX	2018/2/15 10:40	6	m ³		ZK-00639	1
													m ³			
													m ³			
													m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ
上記の保管物は6m3コンテナ2基に分けて収納

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
①	B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
			01	難燃物	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
②	D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013502 - 0001					
作業主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月15日		(木)	11:30		承認	審査	作成						
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託													
	発生場所	水素トレーラーエリア						2018/2/13	2018/2/13	2018/2/13					
	作業主管G	工事基盤整備グループ				監理員			TEL						
	元請会社					担当者			TEL						
メ モ	線量測定年月日	2018/2/13		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	ICWBL-80				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率						
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	12	m ³	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	β 有	0.04	mSv/h
	2							m ³							
3							m ³								
4							m ³								
5							m ³								
※内容物: 砕石 6m3コンテナ2基(借用済)を運搬します。運搬時間は 瓦礫担当者様と調整済み。															

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2018	—	02	—	0101	2018/2/14
調整後保管日時		2018年2月15日			11:30
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年2月15日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				6	μ Sv/h	6	μ Sv/h	6	μ Sv/h			6	m ³			
1	1	1	コンクリートガラ	6	μ Sv/h	6	μ Sv/h	6	μ Sv/h	エリアX	2018/2/15 11:20	6	m ³		ZK-00785	1
1	2	2	コンクリートガラ	6	μ Sv/h	10	μ Sv/h	10	μ Sv/h	エリアX	2018/2/15 11:20	6	m ³		ZK-00848	1
													m ³			
													m ³			
													m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ
上記の保管物は6m3コンテナ2基に分けて収納

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —			
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —			
				B	不 燃 物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類	
						06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他	
						11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —	
C	難 燃 物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —					
		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —					
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。